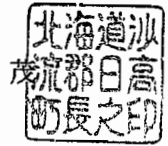


日企企発第 146 号
平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

日高町長 三 輪



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）
平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のあったこのことについて、別紙のとおり
提出します。

（企画財政課企画財政 G）

- ・ 公益法人や道路整備関係の特別会計関連支出、経常費の無駄を排除し、本に必要な道路整備の財源に充てる必要がある。
- ・ 地域によっては公共交通機関の整備が十分ではなく自動車に頼らざるを得ない地域があることから、地域の実情にあった道路整備は必要不可欠であるとともに、道路整備計画に基づく財源確保が必要である。
- ・ 多くの自治体は、厳しい財政状況から道路整備関係予算が削減され、必要な幹線道路の整備が遅れている。また、少ない一般財源で最低限の維持補修のみ行っている状況にある。これまで整備した道路・橋梁等の老朽化が進んでいるため、改修・耐震化が膨らむ現状にあることから、国における補助制度の整備・拡充による財源措置を望む。

○現状	○課題
●幹線道路 国道や道道、高規格幹線道路は、安全に通行できる道路へと整備が進められており、高規格幹線道路にあっては、平成 18 年 3 月に日高管内への第一歩となる日高富川 I C が供用開始され、移動時間の短縮はもとより、物流の効率化や救急患者の搬送時間の短縮など地域住民の生活に大きく貢献している。 しかし、北海道横断自動車道の整備が進められ占冠 I C が供用開始されたことから、これまで国道 274 号線（日勝峠）を通過していた車両が減少し、地域内の経済活動に大きなダメージを与えている。 また、町内には高度医療施設や産婦人科等がなく、1 時間以内に救急医療を受けられない状況にある。 ●町道 町道については、各地区と幹線道路を結び、生活道路として日常生活や産業活動等の効率・活性化を図るため整備を進めているが、都市計画道路等は町財政が厳しく整備が進んでいない。他町に比べ 413 路線（約 406km）と路線・延長ともに多く、これまで整備してきた道路・橋梁等の老朽化が進んでいるため、改修・耐震化への経費の増加が懸念される。	●地域活性化 高速道路や高規格道路の整備による移動時間の短縮に伴い、若年者や購買力の流出が大きく、地域内の活力が失われつつあり、地域外の観光客誘致による購買力の流入や交流人口の増による地域内の活性化が必要である。 ●救急医療 1 時間以内に高度医療を受けられない状況にあることから、町民が安心して暮らせるよう医療機関との連携を図るとともに、幹線道路網の整備が必要である。 ●ストックの老朽化及び災害対策 これまで整備してきた町道の補修（オーバーレイ）及び橋梁の老朽化や耐震化に伴う補修費が大幅な増加傾向にあり、厳しい財政状況での適切な維持管理には限界がある。 また、国道及び道道については、近年の大雨災害による土砂流出により、何度も交通が分断されていることから、危険箇所の防災対策が必要である。

地域住民の日常生活や産業活動等において、国道や道道はもとより町道の役割は非常に大きく、高速道路及び高規格幹線道路との道路ネットワークの形成により地域産業の発展や救急医療体制の確保、生活文化の向上など、多岐に亘る効果が見込まれることから、これらの生活基盤が整備されることが当町の将来像「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」の基礎となるものである。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道日高町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
地域活力の向上	●高規格幹線道路日高自動車道の整備促進 ●ワンポイント景勝地駐車場の整備 (国道 274 号) ●住宅地と商店街間の動線確保 (町道富川南 16 号線・富川北 29 号線)	都市間の人や物、さらに情報の敏速な交流を図ること でき、住民生活の利便性の向上、地域経済の活性化及び 広域観光ルートが確立される。 日高地区の有する日高山脈や沙流川溪谷などの自然 景観をアピールし、年間 230 万台に及ぶ通過車両をワン ストップさせることで、知名度の向上や地域経済の活性 化等が図られる。 住宅地と商業施設や公共交通施設を結ぶことで、市街 地の活性化と、定住者の受入体制が整備される。	
地域の交通安全対 策及び危機管理の 強化	●国道 237・274 号線の安全対策 ●国道 235 号線の防災対策（土砂災害） ●国道 235 号線門別本町地区の交差点改良	道央と道東を結ぶ 2 路線は交通量が多く、交通事故が 多発している。国道 237 号は当町の本庁舎と総合支所を 結ぶ重要な道路であり、274 号の日勝峠は道央と道東を 結んでおり、本線の安全対策は沿線市町村の発展や物流 の確保に寄与される。 災害時における日高圏域の日常生活及び産業活動へ の影響を最小限に抑えることができ、地域住民が安心し て生活することができる。 高規格幹線道路日高自動車道門別本町 I C (仮称) の 開通が予定されている道道正和門別停車場線と国道 235 号線の交差点に信号機が設置されることで、通行車両等 の安全が確保される。	